

骨接合術または人工骨頭置換術を受け、 地域連携クリティカルパスで転院される患者様・ご家族の方へ

【治療の流れ】 手術 → リハビリテーション → 退院

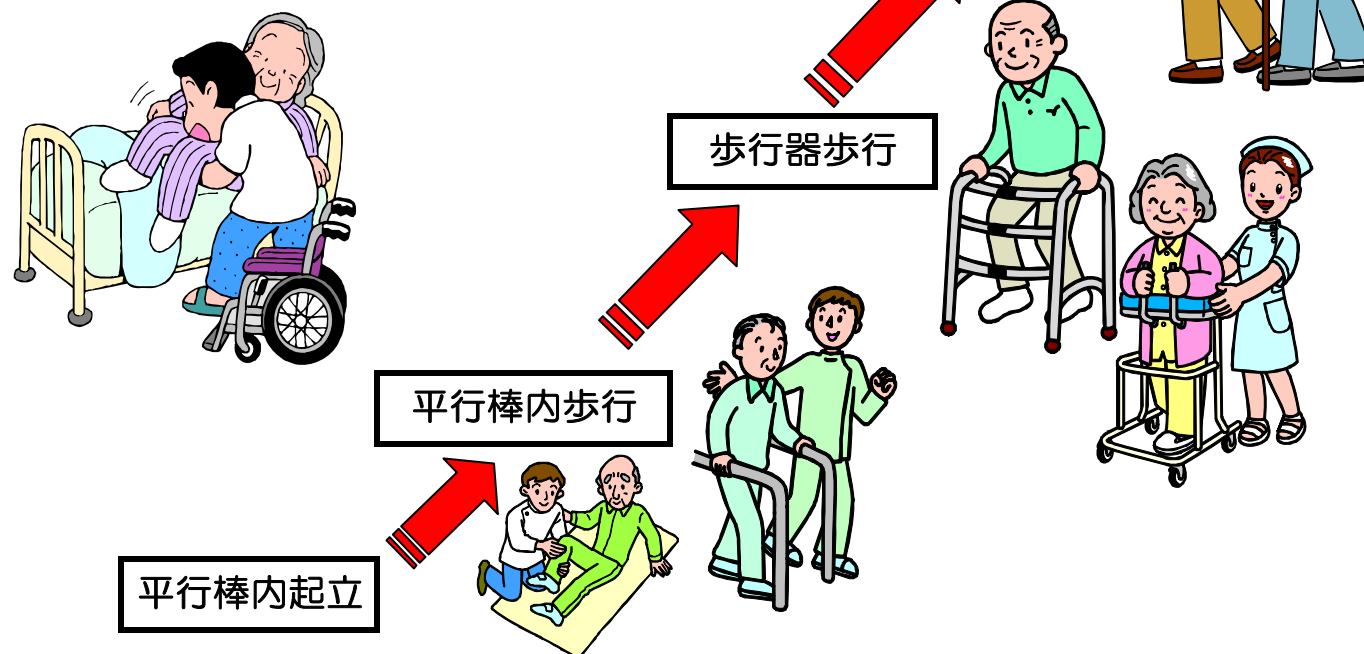
大腿骨頸部、転子部骨折の多くは骨粗鬆症が原因となり発生する骨折です。高齢者の方に発生することが多いことから、寝たきりの原因になることが知られています。今後転院しリハビリテーションを継続していくことが大切です。

しかし、現在、認知症・せん妄により、リハビリテーションが計画通りに進んでいません。このままでは、けがをする前の移動能力を獲得することができない可能性があります、下記に示す目標がゴールになる可能性があります。

経過	入院・手術・・・	転院 術後1～2週	退院 目標：術後6週
リハビリ	関節を動かす練習 筋力訓練	歩行訓練	
清潔	体拭き	キズが良ければシャワー浴	
検査	血液検査 レントゲン 心電図など	血液検査 レントゲン	血液検査 レントゲン
教育	入院時指導	家屋改修相談・退院指導	試験外泊
介護保険		リハビリ状況により必要時、介護保険申請	

退院時の目標：【 車椅子・伝い歩き・歩行器・杖 】

まずは、ベッドから車椅子へ
移る練習をがんばりましょう。



ころばないように注意して訓練を進め、けがをする前の移動能力の獲得を目指しましょう。